地域とともにある学校づくり　滝川市のコミュニティ・スクール

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育総務課　令和元年 11月 8日発行

きずな 絆

― 第 13 号 ―

～ 学校支援地域本部事業紹介 ～　【実践例紹介】

西小学校　3年生　食育授業

JA たきかわ玉ねぎ部会　部会長　業天　義明さん

JA たきかわ販売部　特産販売課 主幹　中村　美奈子さん

からだにやさしい 有機栽培

滝川産のおいしい玉ねぎ

引き続き今回も，学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育めるよう「地域とともにある学校づくり」を進める「コミュニティ・スクール」の**実践例を紹介**します。

９月２７日(金)，**滝川市立西小学校の3年生**は，佐々木貴子栄養教諭による食育の授業で**JAたきかわ玉ねぎ部会　部会長　業天義明さんとJAたきかわ販売部　特産販売課　主幹中村美奈子さん**から**「滝川産の玉ねぎ」**について色々なことを教えていただきました。

滝川市立西小学校

まず，本日の勉強は何か，ということで、ブラックボックスが用意されていました。子どもたちは，興味津々。ブラックボックスから出てきたのは，小さくてかわいい「滝川産の玉ねぎ」 でした。

本日の給食は，親子丼です。滝川産の玉ねぎ，米などの材料がたくさん入っています。その中で，今日の課題は，「滝川産の玉ねぎを知ろう」です。

佐々木貴子栄養教諭

玉ねぎの働きや栄養，生育の様子など色々なことを教えていただきました。

今日学んだことから，玉ねぎ一つ一つに農家の皆さんの愛情がたくさん入っていることがわかりましたね。

穂山拡希教頭・長谷川　孝校長

子どもたちは，佐々木栄養教諭から，「玉ねぎは，消化を助けたり，体の調子を整えたりする。」ことや「血液の働きが良くなるので，疲れがとれやすくなる。」など,絵や模型などを使ってわかりやすく学んでいました。

血液の模型

次に，**JAたきかわ玉ねぎ部会　部会長業天義明さん**から玉ねぎの生育の様子について，写真を使って説明していただきました。

有機栽培は，化学肥料を使わないで自然界のもので作っています。有機栽培で作物を育てるには，努力と勉強が必要です。将来は，有機栽培を中心に作物を育てていくことになると思います。

JAたきかわの業天義明さんと中村美奈子さん

玉ねぎの生育の様子

ﾎﾟｯﾄに種を植える

ハウスの中で苗になる

苗を畑に植える

大きく生長する

玉ねぎができる

収穫する

収穫する

コンテナで乾燥する

２月２５日頃に種植えをし，４月２５日から５月５日位迄に畑に植えます。
７月２５日頃には，葉が枯れて大きくなります。そして，お盆頃から一か月半かけて収穫し，コンテナに入れて風で乾燥させます。玉ねぎが嫌いな子も，体にいいので挑戦して食べてみましょう。

真剣なまなざしで聞く子ども達

どの子どもたちも真剣なまなざしで，業天さんのお話をしっかりと聞いていました。
その後，質問タイムでは，「皮の重なりは,茶色が３枚で，白い実を守るためにあるんだよ。」「玉ねぎの種類は大きく分けて4種類あるよ。」など色々と答えてくださいました。
一番声が上がったのは，「私たちは玉ねぎの葉の部分を食べている。」ということがわかった時でした。

質問タイム

また，玉ねぎの種を見て，「塩みたい！」と驚いていた子もおりました。
この授業を通して，子どもたちは，玉ねぎの体の中での働きや生産者の皆さんがたくさんお世話をして育ったことがわかったと思います。一つの玉ねぎが私たちの食卓に届くまで，農家の皆さんはたっぷり愛情を注いで育てて下さいます。このことを忘れず，感謝しながら美味しくいただくと生産者の皆さんのご苦労はきっと幸せいっぱいの笑顔に変わりますね。